

看護しずおか

KANGO SHIZUOKA

看護師職能委員会が2つになりました
東日本大震災 Part.4 ーがんばれ!日本ー

会員数……………18,158名

保健師……………520名

助産師……………690名

看護師……………15,839名

准看護師……………1,109名

(平成23年11月4日現在)

vol.4
平成23年度



“こんにちは赤ちゃん” 11月3日はいいお産の日



社団法人 静岡県看護協会



ホームページ
<http://www.shizuoka-na.jp/>

静岡県看護協会

検索

今、大切なこと



会長 佐藤 登美

会員の皆さま、こんにちは。

海上では時速10キロという、超遅い台風12号が列島を縦断するように通り返した後、空の明るい10月6日(木)、西部地区支部に待望の事務所が開設致しました。お陰様で、昨秋からの副会長を始めとする関係者の努力が実りました。改めて、感謝申しあげる次第です。事務所は、浜松駅から歩いて僅か10分程度。建物も新しく、西南に大きく開いた窓が開放的な印象です。ビルには「静岡県看護協会西部支部」と真新しい看板も付きました。今後は、この事務所を十二分に活用し、県下最大の支部会員を擁する部署として、公益法人としての地域活動などを積極的に展開して下さることを期待しております。

さて、毎年のことですが、この時期は来年度の事業計画を作成します。特に今年は、公益法人申請(平成24年9月予定)に向け、すでに6月通常総会においてご了承頂いた静岡県看護協会の使命(目的)、活動理念、基本戦略(議案第5号)などを踏まえ、そこへ向かって各種の基盤を整備していくことが重要事項となります。そこで、平成24年度の諸活動の重点事項(案)として、常任理事会で次のような項目が確認されています。

- 1 公益社団法人への円滑な移行と組織の基盤強化
- 2 看護職の確保・定着・再就業支援事業の推進
- 3 時代や社会から求められる看護職の育成の強化
- 4 地域医療ニーズに対応した訪問看護ステーションの機能強化
- 5 災害看護支援体制の見直しと充実
- 6 社会の要請に応えられる職能委員会の機能強化

この他に、平成24年度は「日本看護学会—看護総合—学術集会の開催」＜平成24年8月23日(木)～24日(金)＞が予定されていますので、この準備などにもかなりの陣容とエネルギーが必要となります。教育研修部、学会準備委員会が中心となって進めますが、協会が一体となった協力体制が欠かせません。会員の皆様のご理解とご支援をお願い致します。

今年は、“東日本”と称される広範な地域に千年に一度の大震災が襲いました。この震災によって、安全だと思いつけていた原子力発電の高度な設備が無残に破壊されました。これは人災です。放出された放射線物質が美しい野山や河川を侵し、豊かな土壌やそこに植えられた農産物を侵しました。さらに、人々の命の上にも、暮らしの中にも、静かに広がり、その汚染は近隣地域のあらゆるものを侵しました。その意味で、むろん私たち自身も例外ではありません。たとえば、捨てられた牛が牛舎を出てやせはてた体躯でよろよろと歩いていく姿に、胸を詰まらせなかった人はいないでしょう。どんな許しも間に合わない事態というべきです。しかしこれらは、言わば技術を持った人間が為してしまったことです。その意味で、科学技術への向き合い方が問われるところです。今、大切なことは、この問いに対して根本から考えることだと思っています。それに、これは決して看護という仕事に無縁な“問い”ではないと考えますが、皆さんは如何ですか。

(平成23年10月18日 記)

西部地区事務所が開設しました

平成23年10月6日(木)、秋晴れの爽やかな日に西部地区支部の拠点となる事務所が開設しました。昨年の東部地区支部に続き、県内2番目の事務所開設となりました。事務所のある浜松市東街区は近年開発整備され、街並みが美しい地区です。JR浜松駅から徒歩10分、近くにアクトシティ、楽器博物館、静岡芸術大学などがあり、素敵なカフェや公園もある便利で心地よい環境です。多くの皆様のご支援とご協力があり、開設の日を迎えられたことに深く感謝いたします。

開所式は、来賓に浜松市健康福祉部医療担当部長、浜松医師会会長、歯科医師会会長、薬剤師会会長、社会福祉協議会事務局長、そして事務所のある浜松西青色申告会専務理事を迎え、施設代表者の方々と県協会から役員の皆様、西部地区支部役員の総勢32名が出席して行いました。会の中で、佐藤会長から「白衣を着たときだけでなく、TシャツとGパンで市民の中で活動して欲しい」とお話がありました。地区支部活動は、地域住民の皆様の健康福祉の向上に向けた看護活動が中心です。行政や他の医療職の方々との連携をとり、地域に溶け込んだ活動を展開したいと決意を新たにしました。

西部地区支部は会員数5,007名の県内1番の大所帯です。会員一人ひとりの力を合わせ、さらにパワーアップした支部になるよう取り組んでいきたいと思ひます。

10月7日(金)付け、静岡新聞・中日新聞の西部版に「西部地区事務所が開所、健康福祉推進拠点に」という見出しで掲載されました。



平成23年度 第2回理事会報告

開催日時 平成23年9月20日(火) 午後3時30分～

会場 静岡県看護協会 第1会議室

【出席者】佐藤会長・落合副会長・赤池副会長・守屋専務理事・小長井常務理事・望月常務理事・平井理事・塩田理事・山口理事・宇賀神理事・前田理事・吉村理事・高倉理事・増田理事・今西理事・大川理事・宮地監事・望月監事・五十嵐事務局長・古田ナースセンター所長
【欠席者】望月理事・中野理事・河合理事・神原理事・戸塚監事

1 協議事項

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| (1) 平成24年度役員改選について | (3) 西部地区支部事務所移転の承認について |
| (2) 公益社団法人静岡県看護協会定款(案)について | |

2 報告事項

- | | |
|---|---|
| (1) 日本看護協会の動向について
・特定看護師(仮称)に関する進捗について
・看護師等の「雇用の質」の向上に関する省内プロジェクトチーム報告書(概要)
・介護職員等によるたんの吸引等実施のための制度について | (2) 入会申込者の承認について
(3) 平成22年度静岡県看護職員退職者調査結果について
(4) 平成24年度「看護の日・週間」企画実行委員会委員について
(5) 日本看護学会一看護総合一学術集会について
(6) その他 |
|---|---|



— 看護師職能委員会 —

看護師職能委員会は、平成23年度から病院看護師職能委員会と施設・在宅看護師保険施設や訪問看護ステーションなどで働く看護師が増えています。それぞれが抱える

施設・在宅看護師職能委員会

施設・在宅看護師職能委員長 中野博美

1. 施設・在宅看護師職能委員会発足！

医療・看護を取り巻く社会的背景として、少子化に伴う総人口・生産者人口の減少に反し、超高齢社会となり単身、高齢者世帯の増加、認知症患者の増加、高齢者の多死時代到来などによる介護、看護が大きな問題となっています。同時に国では膨れ上がる社会保障給付費の捻出など、大きな問題を抱え、医療現場では、機能分化や在院日数の減少がさらに進むと予測されます。今後、高齢者の健康の保持、疾病の回復、維持、個々が望む終末の過ごし方など、慢性期看護を担う施設や在宅で働く看護師に寄せられる期待と役割は大きく、ますます重要となるでしょう。

このような中、静岡県看護協会では他県に先駆け看護師職能委員会を2つに分けて新たに施設・在宅看護師職能委員会を立ち上げました。現場の抱える問題を、現場で働く看護師が中心となり、課題を明らかにし、対策を検討することで改善を目指します。まずは、介護保険事業所で働く看護師の就労実態を把握したいと思います。そのうえで施設・在宅で働く看護師の研修や職能活動に役立てていきたいと思います。

まだ始まったばかりの委員会ですが、活動方針を「その人らしく生き抜くことを支える」と掲げて、メンバー8名で知恵を絞り少しずつ進めていきたいと思っています。



2. 活動内容紹介

1) 課題発見

課題把握のための実態調査を実施したいと思います。

現在、その方法等を検討中ですが、是非ご協力をお願いしたいと思います。

2) 第1回施設・在宅看護師職能集会のご案内 ～みなさんの参加をお待ちしています～

① 日時 平成24年2月8日(水) 13:00～16:00(受付12:30)

② 会場 静岡県看護協会 第1研修室(エスパティオ3階)

③ 内容

☆基調講演 テーマ:施設・在宅看護師職能委員会発足にあたって

静岡県看護協会 佐藤 登美

☆実践報告:施設内教育について、施設内他職種協働について、病院・地域との連携について

☆グループワーク:テーマ「仲間と語り合い明日からの活力にしよう」

④ 対象者 県内の施設、在宅で働く看護師120名 協会員以外も可能です

⑤ 資料代 100円

⑥ 申込み ホームページまたは、別紙申込み書にご記入のうえ、FAXにて平成24年1月13日(金)までにお申込み下さい。



が 2 つ にな り ま し た -



職能委員会の2領域で活動しています。近年、医療機関に働く看護師だけでなく、介護課題を、より身近な問題として職能委員会で検討することができます。

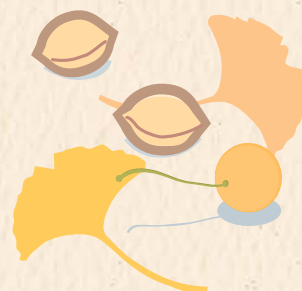
病院看護師職能委員会



病院看護師職能委員長 塩田美佐代

平成23年度病院看護師職能交流会開催

10月1日(土)に静岡市「あざれあ」にて、参加者306名で(東部116名、中部138名、西部52名)病院看護師職能としてはじめての交流会が開催された。基調講演では川嶋みどり先生から「看護の真価と進化」というテーマで、看護の本質について、深く心に残る話をいただいた。また、チーム医療のキーパーソンとして期待されている看護師が、専門職として役割を発揮し社会に貢献できることをテーマにしたシンポジウムでは、さまざまな病院でご活躍中の医師(鬼塚哲郎氏:静岡がんセンター)、薬剤師(神谷令子氏:静岡赤十字病院)、管理栄養士(野田千保子氏:焼津市立総合病院)から、看護師に期待することを実例から述べていただき、看護師として活躍する場面が多様化している様子が伺えた。そして、看護師の立場として、脳卒中リハ看護認定看護師(鈴木千佳代氏:聖隷浜松病院)が、療養生活支援の専門家として、患者の全体像を捉えて必要な資源を提供するコーディネーターとしての役割について述べていただき、意見交換が行われた。看護師として患者や社会に貢献してゆくための課題とともに新たなパワーが得られた一日であった。



「しずおか元気応援フェア2011」に 「まちの保健室」を出展しました!

秋晴れの10月8日・9日の連休にツインメッセ静岡で「元気応援フェア2011」が開催されました。市民の健康に関する情報提供や「まちの保健室」を知っていただく場として「まちの保健室」を出展しました。各委員会がそれぞれテーマをもちタイムリーな題材で趣向を凝らした内容でした。

この2日間でフェア全体では、44,000人が来場し、本会の「まちの保健室」には行列ができる盛況ぶりであり、延べ2,688人の来場者がありました。



◆保健師職能

「守れてますか?メタボ対策

～あなたの健康・家族の健康 看護職が応援します～」

保健師による分かり易い説明をしながら健康チェックを行い、健康相談のみで2日間に300人を超えました。市民の健康への関心の高さを改めて確認できました。



◆助産師職能

「命をつなぐパートナー」

助産師の仕事を知っていただく活動をしました。

赤ちゃん抱っこ体験では、小学生の女の子が興味津々の様子で「私、助産師になりたい」の言葉には感動しました。妊婦体験コーナーでは、突然パパがママに変身し泣き出す子や夫婦で妊婦体験し妊娠中の事を語り合うなど、微笑ましい場面も多く見られました。



◆病院看護師職能

「AEDを使いこなそう、ちびっこナースとドクター写真館」

AEDを実際体験し、緊急時の対応に関心を持っていただくこと、看護職に興味を持ってもらう機会とすること、災害支援ナースの活動報告の場として活用しました。



◆施設・在宅看護師職能

「いつまでも自分らしく過ごすために!」

PCによるゲーム感覚での脳トレーニング、音楽に合わせた元気アップ体操、ともに市民参加型のもので、特に中・高齢者の方には、「元気に自分らしく過ごそう」と、興味深くかつ楽しく参加していただきました。

医療・看護安全担当者交流会

社会経済福祉委員会

人は誰でも間違える

あなたの患者と仲間を救う根本原因分析

本年度は、RCA（根本原因分析）の手法を学び、実践の場で活用できることを目的とし、種田憲一郎先生（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部）をお招きし、9月25日に医療・看護安全担当者交流会を開催しました。

種田先生から、多様な医療機関の現状を共有し安全を構築することが非常に重要であるとお話も頂き、本交流会の意義を再認識しました。一部ではありますが、交流会での内容をご紹介します。

研修内容カリキュラム

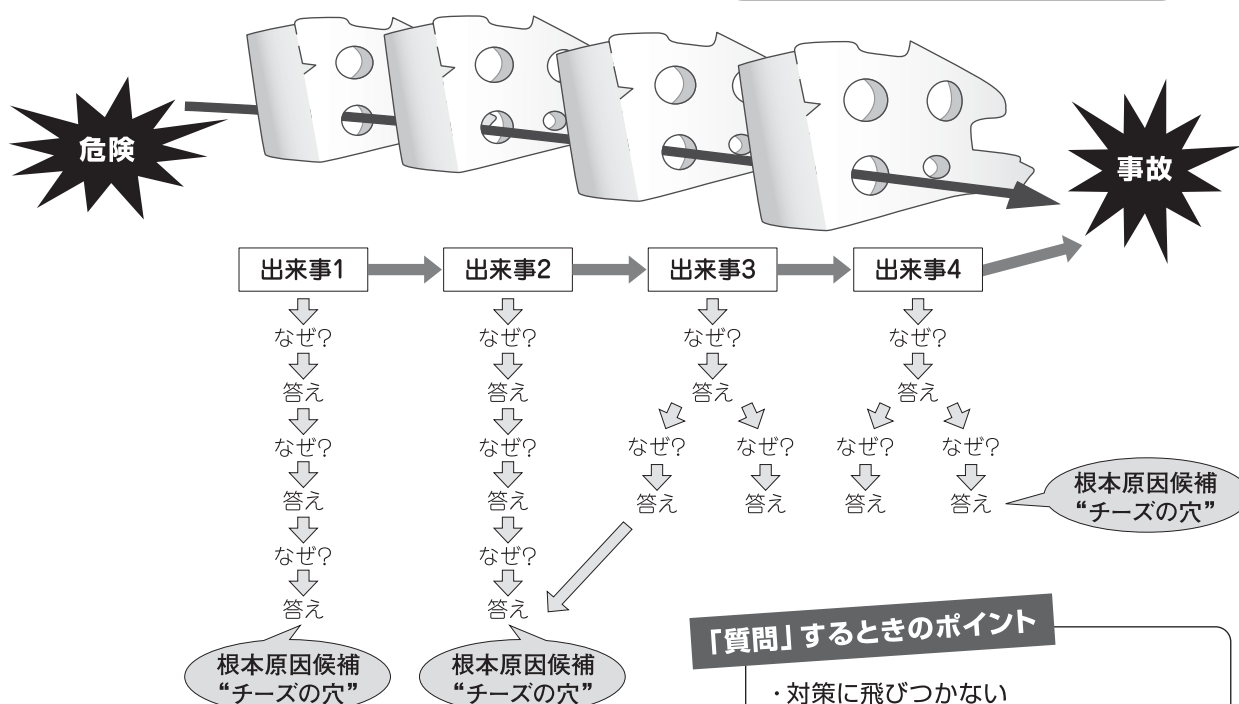
- ☆ なぜ医療安全、事例分析は必要か
- ☆ RCA分析の目的と技法の説明
- ☆ グループワーク（RCAによる事例展開）
- ☆ グループワーク発表と講評

～講師：種田憲一郎～



RCA分析を行う際の基本的考え方

1つの医療事故が起きる際には、そのシステムにおいて平均4.5個の過誤が存在する



分析時のポイント

- ・参加者は平等な立場で発言し、お互いを尊重しあう
- ・お互いが意見を自由に述べ、個人否定しない
- ・システムとしてどう改善していくか考える
- ・時系列で分析を進める
- ・報告書だけではなく、現場に必ず出向き、現場の様子を感じる

「質問」するときのポイント

- ・対策に飛びつかない
- ・当然と思われることにも疑問をもつ
- ・出来事の事実「なぜ」という疑問詞をつけて疑問文を作成してみる
- ・個人がなぜそのような行動判断をとったのかを分析する
- ・各出来事が「スライスチーズの穴」（エラー）になっていないか検討する
- ・疑問がでないときには「トリアージ質問項目」を参照する

参加者の皆さん、積極的な参加ありがとうございました。

災害看護研修会報告



今年度の『災害看護研修会』は、①災害時における他職との連携について学ぶ
②災害支援ナースの役割を学ぶ を目的として9月14日に行われました。東日本大震災後、予測される東海地震発生時の対策の必要性を考え受講希望も多く、たくさんの方が研修に参加されました。研修会では、講演、パネルディスカッション後に多くの質問が寄せられ、災害看護への関心の高さが見受けられました。今回は研修会の中から、保健師の立場からの報告、研修参加者の感想、研修会後のアンケート結果を取り上げてみました。

◎ 基調講演 ～東日本大震災の医療支援活動から～

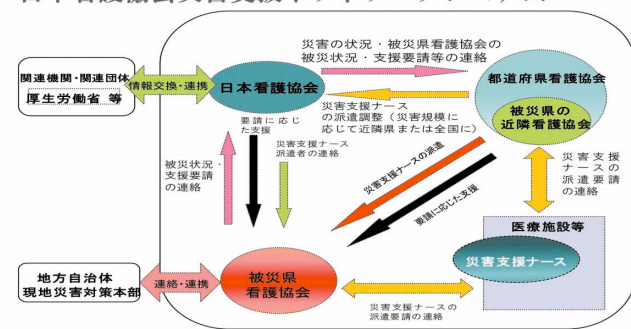
組織的な取り組みについてお話がありました。



静岡済生会総合病院
救命救急センター長 東岡宏明氏による講義

1. 災害支援ナースの派遣活動

日本看護協会災害支援ネットワークシステム



◎ 事務・保健師・薬剤師・看護師それぞれの立場からの被災地支援報告とパネルディスカッション

- 〈パネラー〉
- 静岡県地域医療課 酒井仁志 氏 (行政)
 - 静岡済生会総合病院 松永靖 氏 (事務)
 - 静岡県健康増進課 川田敦子 氏 (保健師)
 - 静岡赤十字病院 杉山博信 氏 (薬剤師)
 - 富士市立中央病院 秋山ゆかり 氏 (看護師)



パネラー

保健師の立場から

静岡県健康増進課 川田敦子

静岡県では、保健師や公衆衛生医師らで編成する公衆衛生チームを仙台市と岩手県山田町へ発災4日目から派遣しています。

避難所では住民個人と避難所という集団の両者のケアが欠かせません。衛生状態も栄養状態も悪い環境で発熱者が1人いれば、避難所全体の感染を予測して対応する必要があります。また医療チームとの連携も重要で、医療が必要な方を見つけ支援のルートに乗せることも保健師の大きな役割でした。

地域をよく知る現地の保健師はコーディネート機能を担い、派遣保健師はその手足となり避難所等で活動するのですが、たとえ遠く県外から来た保健師とはいえ、町の特性や人柄を活動の中で感じ取り「地域の保健師さん」として避難所や仮設住宅、被災地域の家庭訪問を行なうように頑張ってきました。

「青い制服の静岡の保健師さんは毎日来てくれる」と待っていてくれた方もいました。ほんの少しでも「安心」を届けることが出来たのではないかと思います。

災害時の健康支援の基本は「地域活動」です。平常時しっかり地域活動をするこ
と(「わが地域の保健師さん」を担うこと)が大切であると実感しています。



川田敦子 氏



保健師活動

◎ 研修参加者の感想

看護職だからこそ備えたい

掛川市立総合病院 河本 万喜世

3月11日14時46分頃想像もしなかった超巨大地震の発生と原子力災害が起きました。いち早く組織的な取り組みで現地で救援活動された、静岡済生会総合病院救命救急センター東岡宏明先生の発言は、“できることをできるやり方で”という思いがあったからこそ出来たと思いました。誰にでもできることではない熱い使命感があった。病院という組織を動かし、人を動かすために常日頃から、人とのつながりを大事にされている事を感じました。いざという時すぐ出掛けられる環境づくりと心構えは看護職である私達にも必要です。誰の為に、目的、方法を意識し援助する事が大切だと解りました。

一人ではできなくても、多くの人たちとなら継続できます。リーダーの有り方と共通語の理解は重要です。“いつ起きてもおかしくない”と言われ続けている東海地震に備えること。そして自己満足に陥らない医療サービスが提供できるよう常に心掛けていきたいと思ひます。



研修に参加し感じたこと

静岡済生会総合病院 石黒 庸予

東日本大震災前後で、私はいくつかの災害関連の研修に参加し、その度に、看護師だけでなく他職種の方の実際の体験や、被災地の状況などの話を聞いてきた。今回も、医師や看護師・保健師、薬剤師や事務の方々の実際の活動などの話を聞くことができ、自分の今後の学習や経験につながる、貴重な研修であったと感じた。

看護師や保健師として求められることはさまざま、幅広い能力が必要である。被災者の心のケアにあたるためには、自分自身の精神面の強さも必要だと感じた。

数年前から、いつ東海地震が起きてもおかしくないと言われ続けている。もし東海地震が起きたら、自分自身も被災者となってしまう。全く想像のつかないことである。しかし、その時に周りの人々のために、何か出来るような人になりたいと思う。これから多くの知識や技術を身につけ、経験も積んで、自分自身が成長していきたい。

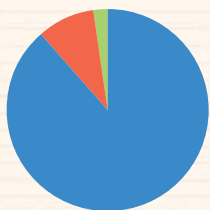
◎ 研修後のアンケート結果（一部抜粋）



災害支援ナースについて

1) 災害支援ナースを知っていますか

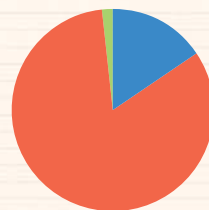
- 知っている・・・154
- 知らない・・・16
- 無回答・・・4
- 合 計・・・174



災害支援ナースについて知っている人89% (154名)

2) 災害支援ナースに登録していますか

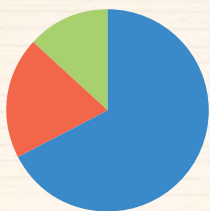
- 登 録・・・27
- 非登録・・・144
- 無回答・・・3
- 合 計・・・174



知っている人が89%であるが登録者は16% (27名)

3) 登録したいと思いますか (非登録者)

- したい・・・97
- しない・・・28
- 無回答・・・19
- 合 計・・・144



144人中、今後登録したい人は、68% (97名) と災害に対する意識は高い。しない人の内、数名はいまは無理 (子供が小さい・知識がない)

<まとめ>

全体では、「わかり易い」「勉強になった」という意見が多く、「他職種との連携・情報共有の重要性が理解できた」「マニュアル作り、体制作りの参考になった」など前向きな意見も寄せられていた。

また保健師の地域活動が災害時の情報収集に大きな力となっているとの報告があり、日頃の地道な活動がいかに大事であるか、改めて考えさせられる場となった。

実際の支援に向かう際には、決められたことだけを行なうのではなく、被災者が何を必要としているのか、気づけることが重要である。

教育研修部だよ!



「継続教育ニーズ調査」にご協力を!

教育研修部では、「静岡県看護協会の理念を具現化する会員の育成」のため、教育活動の目標・教育計画の立案・評価について、毎年各委員会をはじめ皆さまのご意見を参考に教育活動を進めてまいりました。この度、今後の継続教育等の参考にさせていただく目的で、県内の医療・福祉施設等看護代表者様にご意見をいただくことを予定しております。

ご多忙のところ恐縮ですが、調査にぜひご協力ください。よろしくお願いいたします。

(望月記)

「新人看護職員研修」について

1. 新人看護職員研修の背景

医療の高度化や在院日数の短縮化、医療安全に対する意識の高まりなど国民のニーズの変化を背景に、臨床現場で必要とされる臨床実践能力と看護基礎教育で習得する看護実践能力との間に乖離が生じ、その乖離が新人看護職員の1年以内離職の一因であると指摘された。平成20年11月から平成21年3月に開かれた「看護の質の向上と確保に関する検討会」の「中間とりまとめ」の中で、「新人看護職員研修の制度化・義務化を視野に、離職防止の観点からも、新人看護職員研修の実施や方法、普及方策について早急に検討し実施に移すべきである」と提案された。そこで、厚生労働省は「新人看護職員研修に関する検討会」を立ち上げ、新人看護職員研修ガイドラインが作成された。また、平成21年7月の保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律の改正により、平成22年4月1日から新たに業務に従事する看護職員の臨床研修などが努力義務となった。

2. 新人看護職員研修(事業)の概要

【新人看護職員研修事業<事業主体:病院等>】

病院等において、新人看護職員が基本的な臨床実践能力を獲得するための研修を実施する事により、看護の質の向上及び早期離職防止を図る事を目的とする。

【外部研修事業】

新人看護職員研修を自施設単独で完結出来ない場合は、外部組織の研修を活用することにより、新人看護職員研修の着実な推進を図ることを目的とする。

・医療機関受入研修事業<事業主体:新人看護職員研修を行う病院等>新人看護職員研修を実施している病院等で、院内の新人看護職員研修を公開し、他の病院等の新人看護職員を公募により受け入れる研修

・多施設合同研修事業<事業主体:都道府県>病院で行うガイドラインに沿った新人看護職員研修を補完する研修

【研修責任者研修事業<事業主体:都道府県>】

研修責任者がガイドラインに示されている新人看護職員研修の実施に必要な能力を習得し、適切な研修実施体制を確保する事を目的とする。

【新人看護職員研修推進事業<事業主体:都道府県>】

すべての病院等の新人看護職員がガイドラインに沿った研修を受けられる環境を整備するため、地域における連携体制を構築し、新人看護職員研修の着実な推進を図る事を目的とする。

3. 用語の定義

- ・**新人看護職員** 一免許取得後に初めて就労する看護職員(保健師、助産師、看護師及び准看護師)で、就労して1年未満の者である。
- ・**研修責任者** 一施設及び看護部門の教育理念に基づき、看護部門の長の責任の下で、新人看護職員研修に関する企画・運営・実施・評価の全ての過程における責任者である。
- ・**教育担当者** 一看護部門の新人看護職員の教育方針に基づき、各部署で実施される新人看護職員研修の企画、運営を中心となって行う者であり、実地指導者への助言及び指導、また新人看護職員への指導、評価を行う者である。
- ・**実地指導者** 一新人看護職員に対して、臨床のOJTの中で新人看護職員を直接指導、評価等を行う者である。

4. 今年度の新人看護職員研修(静岡県受託研修)の目的および研修内容

【新人看護職員看護技術実践研修】

目的:職能人として第一歩を踏み出した新人看護職員が、臨床実践能力を高め、臨床現場と乖離することなく、自律的に医療安全の確保及び質の高い看護に取り組むことを支援する。

内容:新人看護職員が1年以内に修得をめざす項目の中から、「基礎看護技術」「急変時の看護」「コミュニケーション技術」「フィジカルアセスメント」の4項目を実施する。

【新人看護職員研修責任者研修】

目的:施設の新人看護職員研修責任者として、一連の研修に責任を持つことができる人材の養成をする。

内容:新人看護職員研修の背景、新人看護職員研修の概略・ガイドライン、新人看護職員研修の企画と評価、看護職員メンタルサポート、新人看護職員研修の企画の実際

【新人看護職員実地指導者研修】

目的:新人看護職員の実地指導者として求められる臨床実践に関する実地指導、評価等の能力を育成する。

内容:組織の教育システム、マネジメントコミュニケーション、新人看護職員の現状、学習に関する基礎知識、現代の新人への接し方、看護技術の指導方法、指導計画立案

(長島記)



新人看護職員看護技術実践研修(コミュニケーション技術)



「平成23年度中間管理者研修会」を開催しました。

“明るい職場風土をつくるために” —看護職のメンタルヘルス—

日 時：平成23年8月23日(火)・10月7日(金) 午前9時30分～午後4時
 参加者：県内病院の看護師長及び主任等中間管理者、2回で計58名
 講 師：浜松医科大学看護学科地域看護学講座教授 巽あさみ氏

★研修の特徴 →どんな聴き方をすれば傾聴することになるのかをグループで検討し学ぶ



(グループワーク風景)

《リスニングのポイント》 —気持ちに通う!—

- き 気持ちをキャッチ…どんな気持ち?
- も もっと詳しく……さらに話してもらえよう
- ち 違いを尊重……私の思い⇄この人は?
- が 鏡になる……アドバイスよりこの人の心の鏡に
- か 観察……どんなことを伝えようとしているのか?
- よ 要約……話を要約、お互いの頭の中の整理をしよう
- う うなずきが基本……関心があることのメッセージを

(参考:三島徳雄,積極的傾聴を学ぶ)

—実際、聴いてみて、聴いてもらって—

- ☆ いつも聴いているつもりだったが、聴けていなかったことへの気づき
- ☆ 話の途中で口を挟みたくなる、アドバイスをしなくなる自分への気づき と共に、
- ☆ 相手の気持ちを引出す方法が理解できた
- ☆ 相手を認めることを伝え、支えるための傾聴が必要だった 等の感想が聞かれました。

今回の研修では看護職及び中間管理者自身のメンタルヘルスを学び、積極的に「傾聴」することを体験しました。

このスキルを生かし、スタッフとの信頼関係を築くことにより“明るい職場風土”を作るための多くのヒントが得られた研修であったと思われます。

お知らせ

今年度もナースセンターでは職場復帰のための再就業準備講習会を行っています。
 年間10会場実施予定のところ既に8会場で終了し、年度内2会場を残すのみとなりました。

今後の再就業準備講習会	平成23年12月6日(火)～12月8日(木)	沼津市立病院
	平成24年2月1日(水)～2月3日(金)	静岡県看護協会会館

求人求職情報

平成23年度 静岡県の求人・求職登録状況(9月末) (人)

	保	助	看	准	計
有効求人数	23	59	2,064	97	2,243
有効求職者数	91	13	539	59	702
就 職 者 数	15	3	322	17	357

未就業の看護職の方にナースセンターの登録を勧めてください。

静岡県ナースセンター連絡先

本 所 TEL 054-202-1761
 FAX 054-202-1762

東部支所 TEL/FAX 055-920-2088

西部支所 TEL/FAX 053-454-4335

職場や学校での悩みごと相談は
 ⇒TEL 054-202-1780

平成23年度静岡県看護研究発表会

日 時 平成24年1月28日(土)10:00～15:30(開場9:30)
場 所 男女共同参画センターあざれあ 6階
(静岡駅北口より西へ徒歩10分)
内 容 口演10題・示説12題予定
講 師 14時～特別講演 北里大学 教授 黒田裕子 氏
「実践に生かす看護研究」
申込締切 平成23年12月15日(木)
定 員 300人
参 加 費 会員 2,500円 会員外 3,500円
申込方法 協会ホームページ
問い合わせ 教育研修部 TEL 054-202-1760
e-mail: kyouiku@shizuoka-na.jp

平成24年度静岡県看護協会継続・新規入会 手続き開始

受付期間 平成23年12月1日～ 平成24年11月30日
会員資格 平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
会 員 証 第1回送付は3月下旬を予定
(手続き完了時期により異なります)
問い合わせ 総務部 TEL 054-202-1750

推薦委員会からのお知らせ

平成25年度日本看護協会通常総会代議員および予備代議員の
公募をいたします。詳細については、看護しずおか1月号に掲載
します。多数の応募お待ちしております。

医療・安全情報 平成23年度～第4弾～

医療安全教育セミナー(国際予防医学リスクマネジメント連盟主催)

参加報告 社会経済福祉委員会

8月1日～3日に社会経済福祉委員会のメンバーが医療安全教育セミナーに参加しました。

医療安全の動向と調査・教育
医療安全の最先端技術
医療安全のリスクコミュニケーション

をテーマに研修しました。

興味深かった内容について今回は、お知らせします。

東京都立 松沢病院 専任リスクマネージャー 釜 英介先生
「リスク感性」を磨くOJT～人を育てるもうひとつのリスクマネジメントより～

リスク感性とは何か

- ◆周りから「危ないぞ」「注意してやりなさい」と言われなくても、リスクを察知して自然に安全行動がとれるような感覚
- ◆物事のリスクを見極めて事故と結びつけて考えられる感覚
- ◆事故の方程式を感覚的に持っている人

『事故発生率の低い職場の例』と『事故を起こしにくい看護師の例』の紹介もありました。

事故発生率の低い職場

- ◎事故の検証を取り入れている職場
詳細な検証はリスクの発見と対応
 - ◎笑いのある職場
笑いは精神的安定や意欲の回復に有効
 - ◎ポスターをよく張り替える職場
注意喚起、伝える意欲
- 職場や個人の安定度と意欲が必要

事故を起こしにくい看護師は・・・

- ◎アバウトな看護師、柔軟性がありメリハリがある
几帳面で完全癖なタイプは疲弊しやすい
 - ◎カラオケ好きな看護師
リラックスできている状態、ストレスが低い
 - ◎地声の大きな看護師 活発で外向的、間違いを共有しやすい
- 些細なことに必要以上にこだわらない柔軟性・積極性・意欲・
情緒的安定が必要 ストレスケアの必要性

ご支援ありがとうございます

■賛助会員・・・10(法人・団体)

- 株式会社 坂本モデル ●協和医科器械株式会社 ●SMC商事株式会社 名古屋支店 ●医療法人社団駿甲会 コミュニティケア吉田
- 東洋羽毛東海販売株式会社 静岡営業所 ●株式会社静岡新聞社 ●静岡放送株式会社 ●公立森町病院
- 株式会社トータル保険サービス 横浜支社 ●株式会社ガリバー静岡店

■賛助会員・・・1(個人)